

令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立多摩工業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局 主幹教諭(教務主任兼務)＝事務局長、教務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務主任兼務)、主任教諭(生活指導主任兼務)、主幹教諭(進路指導主任兼務)、主任教諭(学校運営部主任兼務)、主任教諭(4科工業科主任及びデジタル科主任兼務)、書記(新規採用) 計9名
- (4) 協議委員の構成
近隣自治会会長、市教委係長、近隣中学校長、地元企業部長級、同窓会会長、警察署課長級、消防署出張所長、PTA会長 計8名

2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会
 - 第1回 令和3年6月24日(金) 内部委員9名、協議委員7名
分掌の組織目標及び1学期の行事報告および新型コロナ対策。
 - 第2回 令和3年11月25日(金) 内部委員9名、協議委員6名
令和4年度入学選抜や募集対策、2学期の行事報告、3学年進路の進捗状況報告
 - 第3回 令和4年2月10日(木) 新型コロナ感染拡大の為、書面開催
入学者選抜の募集対策結果および令和4年度推薦入試倍率と学力出願状況、進路状況、学校評価アンケートの集計結果など
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和3年11月25日(金) 内部委員2名、協議委員2名
アンケート調査用紙、質問事項の確認について書面で行う。
 - 第2回 令和4年2月10日(木) 新型コロナ感染拡大の為、書面開催

3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点
「学校の認知、理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

(数字：人数、回収率：%)

	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
				配布数	回収数	回収率
生徒	97%	99%	100%	510	510	100%
保護者	67%	64%	33%	510	382	74.9%
教職員	93%	61%	100%	60	60	100%
地元自治会 企業	25%	100%	75%	7	7	100%
中学生	79%	100%	100%	26	26	100%

(3) 主な評価項目

- ・学校全般の印象に係ること。
- ・学習指導、生活指導、進路指導、特別活動に関すること。
- ・防災教育・健康・安全指導に関すること。
- ・開かれた学校への取り組みに関すること。
- ・働き方改革に係ること。

(4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）

- ・「入学してよかった」という設問の結果では、生徒は78%が本校への入学を肯定的に受け止めている。また保護者は95.4%となり学校への期待感が見られる。
- ・「部活動は活発」だと思ふ生徒は、69%で、4年連続で増加している。
- ・「家庭ではどのくらい勉強していますか。」という設問では、29%で昨年とほぼ同じだった。家庭学習の定着を学校・保護者等で考え、生徒に意識づけする必要がある。
- ・「分かりやすい授業が多い」と思ふ生徒は、65%だった。昨年度に比べ4%減少したが、過去五年間では平均6割前後が続いている。昨年度の新型コロナウイルス感染症対策による臨時休校が比較的減ったが、場合によりオンライン授業やプリント学習を補う教員が多く、生徒の理解度に大きく影響したと考えられる。
- ・本校で学力が伸びたと思ふ生徒は55%、学力が伸びたと思ふ保護者は72%だった。
- ・「相談できる先生はいますか」と思ふ生徒は、61%だった。さらに教員に対する信頼関係を高めるために、生徒へのガイダンス機能を高める工夫が必要である。
- ・「この1年で防災意識は向上しましたか？」の質問に昨年度より11%近く減少した。防災訓練や避難訓練の中止が続いたためと考えられる。
- ・「就職に関する指導を多く行なわれている」と思ふ生徒は89%と高い数値を示している。また、「資格取得に関する指導を多く行っている」と思ふ生徒も86%と高い結果だった。資格取得を多く行えば進路は開けると感じている生徒が多いと思われる。今年度の就職で1回目に就職が決まった生徒は9割を超えた。他の工業高校と比較しても例を見ないほど高い数値となっている。このコロナ禍で学校をあげて一貫した生徒指導が進路実現に繋がっていると思える。
- ・生活指導上のことで「厳しい指導」だと思ふ生徒は60%、保護者は53%と生徒は3%減り、保護者は7%増えた。保護者と生徒の数値が近づいてきている。いつでも面接試験に臨める服装であることや、安全に実習が行える観点から生活指導を実施している結果であると推察する。
- ・自治会や地域のアンケート回収率は高いが、回答数があまりにも低い。今後、地域のアンケート回収方法について検討する余地がある。

(5) まとめ

令和3年度は新型コロナウイルス感染症により年度初めは分散登校措置が取られ、学校運営も規制の中で進めた。学校行事は体育祭、文化祭、校外学習が時期を変更したり、学年ごとの実施など工夫をしての実施であったが、昨年度と比較すればかなりの行事が縮小では有るが実施できた。修学旅行は時期を延期したが、結果的には中止となった。

学校運営連絡協議会は新型コロナの感染状況で開催や中止が決まる状況で、3回目の大事な総括が書面開催となり残念な結果となった。今後も開催については新型コロナウイルス感染症拡散防止対策（教育委員会ガイドライン）に基づき開催方法を検討する。

学校評価アンケートで中学生によるアンケートを、今まで福生市立福生第三中学校の生徒さんのご協力を得ていたが、今回より学校説明会に参加した中学生にアンケートをしてもらう事に第2回の学校運営連絡協議会にて決定した。しかし、決定した後の学校説明会は推薦入試間際の1回のみので、有効回答数が少ないが、来年度のアンケート数に期待する。また、昨年度は保護者の回収率が著しく低くなっているが、新型コロナの関係があったかと思われる。今年度は紙での回収をしたが、来年度からは Teams の forms を活用して集計等の簡略化と回収率の向上を今後図りたい。